

令和3年度事業報告

区 分	内 容
1 基幹調査研究等事業	(1) 都市政策に関する調査研究 ① 総合研究 「地域経済のレジリエンス ～人の力を引き出す変革が生み出すレジリエントな都市～」 技術革新、少子高齢化、SDGs といった長期にわたる変化や、自然災害、感染症などの突発的な変化等の様々な社会変化が生じているなか、これらに柔軟かつ適切に対応するためには、地域経済が変化や危機にしなやかに対応できる力“レジリエンス”を備えることが必要である。 福岡市の現状分析及び市内外の企業や他都市の事例調査を行い、福岡市がレジリエンスを備え、都市として社会変化に対応する力を高めるための研究を行った。 ② 個別研究 ア 「情報技術を活用した廃棄物管理」 循環経済の実現を目指し、商業施設等のごみの排出傾向と、メーカー等の資源ニーズを明らかにし、情報連携を進めることで、市中に分散して発生する資源のアップサイクルを促進するための研究を行った。 イ 「テレワークに関する研究」 前年度の研究で明らかになった、福岡市における中小企業のテレワーク実施状況や課題を踏まえ、中小企業へのアンケート結果の分析やヒアリングを通じて、コミュニケーションの困難さなどの課題を明らかにし、中小企業のテレワークの活用と定着に向けての考察を行った。 ③ 共同研究 日韓共同研究（日韓海峡圏研究機関協議会） 定期総会を書面会議、研究報告会をオンライン会議により実施した。 ◆研究報告会テーマ 「SDGs と地域活性化」 (2) アジア交流ネットワークの形成 ① アジア交流プラットフォーム形成 広くアジア諸都市の景観を表彰するアジア都市景観賞を国連ハビタット福岡本部を含む3団体と共催するなど、アジア交流事業に取り組んだ。 ② 国際視察・研修受入れ 福岡市の国際視察・研修受入事業における海外からの視察・研修受入れ窓口として、福岡市関係部署等と、日程や研修内容の調整を行い、オンラインで研修を実施した。 (15 カ国・地域、延べ 667 名) ③ 日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム） 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の助成事業として1件採択を受け、オンラインでアジアの大学生に研修を実施した。 (3) 情報の収集・分析・加工・発信 ① 都市情報の収集・分析・加工・発信 ア 「FUKUOKA GROWTH2022 ～福岡市の人口集積－選ばれる都市～」 隔年で発行している福岡市を国内外にPRするデータブックを、人口集中、生活の質、都市の成長の視点で整理し、発行した。 発行部数：700 部 イ 「コロナ・インパクト・フクオカ ～2020 年コロナ禍影響度チャート集～」

区 分	内 容
	2020 年のコロナ禍による人々の消費行動や関心度等の変化を視覚化したレポートを発行。ホームページで公開するとともに、第3回ナレッジコミュニティにおいて紹介した。 ② 都市政策資料室の運営 アジア地域を含む都市政策関係図書、調査・研究成果、行政資料等を収集するとともに、市民への閲覧・貸出・調査相談を行った。 ③ 刊行物の発行等 ア 研究紀要「都市政策研究」 本研究所の研究成果等を紹介 発行部数：450 部 イ URC ニュース 本研究所の最新情報や活動報告を賛助会員等へ送付、ホームページで発信（6 回、約 800 件） ウ URC Library Information 都市政策資料室の最新情報を賛助会員等へ送付、ホームページで発信（9 回、1,200 件） ④ 都市セミナーの開催 ・「ニューノーマル時代の都市」 （令和3年6月28日 参加者：80 名 オンライン開催） ・「e スポーツが切り拓く未来 ～福岡と e スポーツの新展開～」 （令和3年11月24日 参加者：90 名 オンライン開催） ・「アジアの景観形成と都市の再生」 （令和4年3月11日 参加者：99 名 オンライン開催） ⑤ ナレッジコミュニティの開催 ・「福岡の真の魅力とは？マイクロ・ツーリズムを实践しよう！」 （令和3年7月15日 参加者：41 名 オンライン開催） ・「福岡の留学生の今」 （令和3年9月28日 参加者：50 名 オンライン開催） ・「コロナ・インパクト・フクオカ ～2020 年コロナ禍影響度チャート集～」 （令和3年11月16日 参加者：39 名 オンライン開催） ・「福岡都心部開発にともなう新しい動き」 （令和4年1月20日 参加者：64 名 オンライン開催） ・「市民まちづくり研究員 研究成果発表会 ～新しい時代における福岡の特色を活かしたまちづくり～」 （令和4年3月24日 参加者：17 名 オンライン開催） (4) 人材育成 ① 市民まちづくり研究員の受入れ（3 名） 福岡のまちづくりを担う人材の育成を目的として、自主的に調査研究に取り組む市民を募集し、調査研究活動の支援を行った。 ② 会員研究員の受入れ（1 名） 自主的に調査研究したいと申出があった賛助会員から会員研究員を受入れ、活動を支援した。 ③ インターンシップの受入れ 福岡のまちづくりへの関心を深め、都市政策研究者の育成を図るため、大学生を対象に夏季インターンシップを例年受け入れているが、令和3年度はコロナ禍の影響で受け入れを見送った。

区 分	内 容
2 受託事業	受託調査研究等の実施 ・ 福岡市総合計画データ集等作成業務委託 ・ 外国人にも暮らしやすいまちづくりに向けた調査検討業務委託 ・ e スポーツを通じたクリエイティブ関連産業等活性化調査研究事業業務委託 ・ 令和３年度世界主要都市漏水率調査業務委託 ・ 福岡地域戦略推進協議会事務局業務委託 ・ ふくおか都市圏統計データ集作成業務委託